

豊田市ため池ハザードマップ

城見町 古屋戸池

想定される浸水深

本ハザードマップは、ため池が決壊した際の浸水想定区域と浸水深を示しています。
この想定は、「満水状態のため池から水が一斉に流れ出る」という条件で行っています。
表示されている浸水想定区域以外でも、ため池の決壊による被害が発生する場合も
考えられますので注意が必要です。
災害の発生に備え、日頃からいざというときに落ち着いて行動できるようにしましょう。

ため池の貯水量	
古屋戸池	2,000トン
※25mプール(25m×16m×1.2m)=500トン	

緊急避難場所	地震	風水害
中金小学校	○	○

避難所	災害発生後、施設の安全が確認された後に被災者が生活する場所
中金小学校	

水防倉庫
なし

緊急輸送道路	災害対策活動のため重点的に応急復旧する道路
第一次緊急輸送道路(国・県指定)	
第二次緊急輸送道路(国・県指定)	
緊急輸送道路(市指定)	

緊急避難場所
避難所

浸水深の凡例
5.0m以上
3.0～5.0m未満
0.5～3.0m未満
0.5m未満

土砂災害危険箇所
がけ崩れ
土石流(流域界)
地すべり

浸水深の目安と避難の可否

浸水深	浸水の目安	避難の可否
5.0m超	2階水没	避難不可能
5.0m	2階の軒下まで浸水する程度	
3.0m	2階の床下まで浸水する程度	
2.0m	1階の軒下まで浸水する程度	
1.0m	人の腰までつかう程度	
0.5m	大人の膝までつかう程度	避難不可能

The diagram illustrates a two-story house with a brown roof and yellow walls. Blue arrows indicate water levels reaching different parts of the house:

- 5.0m:** Reaches the top of the second floor.
- 3.0m:** Reaches the ceiling of the first floor.
- 2.0m:** Reaches the eaves of the first floor.
- 1.0m:** Reaches the waist of a person standing on the ground.
- 0.5m:** Reaches the knees of a person standing on the ground.

 A person wearing a red hat and green shirt is shown standing on the ground next to the house, used as a scale reference.

※「ため池ハザードマップ作成の手引き」を引用

